



Merry

Merry Project

1999-2008

Merry Project / 水谷事務所

〒106-0032 港区六本木 6-3-15 泰地六本木マンション 1201 Tel.03-3478-1931 Fax.03-3478-2787

<http://www.merryproject.com> <http://www.remus.dti.ne.jp/~mizutani/>

studio@mizutanistudio.com

1.Merry Project のコンセプト

「あなたにとって Merry（幸せ）とはなんですか？」

このシンプルで誰もが一度は考える

誰にとっても大事な質問を核とし

この問いの答えにあたるものを一人一人に問い

笑顔という世界共通メッセージの映像と、

その考えを言葉のメッセージとして記録します。

この質問を投げかける、笑顔で答える、メッセージで答える

という行為の中で生まれる幸せというテーマを軸とした

コミュニケーションを共感、共有すること、

自分の幸せみんなの幸せを自然な目で考えること。

これが MERRY PROJECT のコンセプトです。

2.Merry の定義

- 1、ゆっくり時間が過ぎていく状態。
- 2、何も気にしないで大笑いしている状態。
- 3、からだの筋や筋肉がゆるんでいる状態。
- 4、屈託がない状態。
- 5、輝いている状態
- 6、丸い状態
- 7、あたたかい状態
- 8、殺される心配がない状態。
- 9、相手の幸せを願う状態。
- 10、晴れ晴れした状態。

「メリー」は、「メリー・クリスマス」で、たいへんな数の外国の人と、イメージを共有しています。

しかし、英語の「メリー」は、ひとことの日本語には置き換えられません。そこで、たくさんの日本語で説明してみました。

「ラブ」や「ピース」とも重なりますが、「メリー」は、新しい。地球にたくさんの「メリー」を！

使用例

メリーな人。メリーな時間。メリーな空間。メリーな音楽。メリーな絵。

あの人の、あの時の、あの言葉はメリーだったね。メリーな映画。「入院中の 94 歳の母が、20 年前に死んでいる夫が見舞いに来ないと介護をしている娘に、なんとも言うので、父さんは天国に行っているのよと答えたら、そこの電話番号聞いておいてちょうだい、と返された」メリーな話しだ。

3.Merry Project

新しい時代をハッピーにするのは人々の笑顔。

「Merry Project」は人々の笑顔とメッセージを通して、世界に「Merry(happy)」の輪を広げていくプロジェクトです。

「あなたにとってMerryとは何ですか?」という質問を街角の人々に投げかけ、その笑顔とメッセージを集める。

その集めた写真とメッセージを、笑顔のポスターの展示を始め、映像のインスタレーション、ビジュアルブックの出版、フリーペーパーの配布などのアート活動に展開し、世界各地で笑顔を広げてきました。

2000年「Merry at Laforet」では、東京・原宿の女の子の写真をその場でポスターにし、展覧会場及び、

ファッションビルをポスターで埋め尽くしていき、2001年ロンドンと東京で同時開催した

「Merry-LondonLife」「Merry-Tokyo Life」では、ロンドンと東京をリアルタイムでインターネットで結び、

笑顔とメッセージをモバイルフォンで交歓し合う作品を発表。2001年・2002年、震災後の神戸では、

再開現場や主要駅など街中に笑顔の人々のポスターを貼り巡らせ、復興中の街を明るくしました。

2003年「Merry in NY」では、テロ1年後のNYで集めた笑顔とメッセージを、東京の六本木で映像のインスタレーション

として発表。2／14のオープニングには、NYと六本木をNTTの最新技術でつなぎ、同世代のNYと東京の女の子達が

意見を交換し合いました。また合わせて制作したフリーペーパーは全世界に配布しました。

同年、東京で開催された「Merry in Tokyo」では東京の街全体を会場とし、六本木・汐留・丸の内・日比谷の4ヶ所の

メイン会場で、プロジェクターや大型モニターによる映像インスタレーション、六本木ヒルズのビルの壁面を

巨大な笑顔で覆うインスタレーションを行いました。また、一般参加によるクリーンアッププロジェクトもスタート。

クリーンアップを見せるパフォーマンスアートとして、東京・渋谷で若者1,000人を集めて大掛かりなパフォーマンスを

行いました。2004年には、札幌で50,000人規模のクリーンアッププロジェクトを行い、街中に笑顔を氾濫させました。

そして2005年、日本の愛知県で行われたEXPO 2005において、MerryはMerryEXPOを展開しました。

"笑顔は世界共通のコミュニケーション"をテーマに、世界23カ国で撮影した笑顔とメッセージを、

万博会場の中心に位置するEXPO PLAZAにて、Wide20m×Height8mの大型ビジョンで映し出しました。

ヴェネチア、ベルリン、アムステルダム、ヘルシンキ、モスクワ、パリ、バルセロナ、エジプト、メキシコ、ハバナ、ケープタウン、

ナイロビ、ブエノスアイレス、サンパウロ、リオデジャネイロ、ホーチミン、上海、シドニー、ブルーム、パース、ヌクアロファ、

デリー、ジャイプール、バンコク…など20,000人近くの笑顔を撮影しました。

Merry EXPOはいろいろな国の人と出会いだれもの共通のテーマ"幸せ(Merry)を身近なところから考え、探し、

笑顔と一緒に広めていくコミュニケーションプロジェクトです。

4.Merry な街づくり

「あなたにとって Merry（幸せ）とは何ですか？」この単純な質問を街角の人々に投げかけ、彼らの笑顔とメッセージを集めて、街中に展示する。「Merry」とは、メリークリスマスのメリーで、幸せ・楽しさ・陽気さといった意味の言葉である。笑顔の写真を撮るだけでなく、「夢は地球を明るくすること」、「平和が1番」など、それぞれのメリー観を写真の下に添える。これが、6年ほど前から継続中のプロジェクト「Merry」である。

「人々の笑顔で街を元気にしよう」というコンセプトのもとに、震災後の神戸、同時多発テロ1年後のニューヨーク、そして長引く不況で元気がでない東京の各所で、笑顔のコミュニケーションアートを展開してきた。

コミュニケーションアートとは、様々な人々が笑顔とメッセージを通して積極的にプロジェクトに参加し、その意義やコンセプトを共有することによって初めて成立するものだとは私は捉えている。

パブリックスペースを使った作品展示は、不特定多数の人の目に触れやすい上に反応が返って来やすい。街全体をギャラリーに変えて、社会や企業を巻き込んだプロジェクトにしたかった。

私はこの Merry Project で、6年間に約2万人の世界中の笑顔フィルムに収めた。

「言葉や文化の違いを超えてすべての人を幸せにさせる共通の表現」としての Merry は、私が米国を旅行した際に、偶然であった少女たちの笑顔に魅せられて写真を撮ったことがきっかけで始まった。以来、「はい、にっこり」と言いながら、たった2台のカメラで写真を撮り続けている。1台目では硬かった表情が、別のカメラに持ち替えた瞬間、自然な笑顔になるという法則がある。私は、元気な笑顔の彼女たちに大きな可能性を感じた。「日本の未来は大丈夫だ！」と。しかしながら、これからは、もっと具体的かつ主体的な形で、継続的に社会に貢献していくべきだと考えた。

"Merry Clean Up Project" は、地球環境を足元から見直し、自分たちが出来ることから世界を変えていこう、と始まった企画。ゴミを拾うこと自体よりも、拾っている姿をアピールすることで、ゴミを捨てさせない Merry な街づくりを目指している。撮影で訪れた23カ国でも水谷を中心にこのプロジェクトを実施。キューバでは周りで見ている多くの子どもたちが「一緒にゴミ拾いさせて！」と集まってきたり、オーストラリアではアボリジニの子供達が、ゴミ袋を取りあってまで一緒にゴミ拾いをしてくれた。子供達は本能的に"環境"を感じていた。

会期中には、愛・地球博のパートナーシップ事業、"Merry Expo Clean Up Project"として全4回のクリーンアップを実施。第1回の5月30日(ゴミゼロの日)には名古屋市栄でクリーンアップを行った。クリエイティブな若者達が参加し、名古屋の街が本来持つ"すっぴん"の美しさを取り戻した。東京からも Merry の輪を広げようと実施された第2回の新橋・汐留では、地元の小学生や出勤前の会社員などさまざまな人々が参加。第3回は9月17日に、六本木ヒルズ自治会とのコラボレーションによる、MERRY EXPO+ ROPPONGI CLEAN UPとして実施した。

毎回参加していたキッコロとモリゾーに加え、六本木ヒルズのキャラクター、ロクロク星人も参加し、ひと味ちがう Clean Up となった。第4回の9月19日は名古屋市内に住む200万人で Merry な街をつくってこうと、FM ラジオで実況ライブ中継をしながら行った。白川公園、名城公園、鶴舞公園の3カ所からスタートした参加者が栄のテレビ塔を目指してゴミ拾い。参加した多くの子どもたちは暑中、競うようにゴミを拾い、つられてほかの参加者もどんどんゴミを拾った。地球を想う Merry な気持ちで万博終了後も育ち続け、やがて大きな花となって欲しい。そんな願いを込めて、参加者に花の種が渡された。集められたゴミ袋には、キューバの子供のメッセージが秋の太陽に光っていた。「世界に希望を！」。

5.MERRY EXPO

「愛・地球博」のテーマ事業 " 愛・地球広場 " のシンボルコンテンツとして展開された MERRY EXPO。

愛・地球博のコンセプト " 地球大交流 " のもと、「あなたにとって Merry（しあわせ）とは何ですか？」という質問を投げかけ、世界 23 カ国で 2 万人以上の笑顔とメッセージを集めた。

博覧会協会とオフィシャル・パートナーが協働で実施した様々なコンテンツは、会場のエキスポビジョンからだけでなく、インターネットを通じて世界中に発信。さらに www.21merry.net では、撮影した全員の笑顔とメッセージが見られるほか、誰もが言葉を越えてコミュニケーションできる VoicePool も公開し、「世界から広場へ、広場から世界へ」という双方向のコミュニケーションを構築した。また、博覧会のため世界各地から集まったダンボールに着目し、その中に「愛・地球広場から発信された Merry な笑顔とメッセージ」を包んで、再び世界中に戻って行くよう企画したのが「MERRY EXPO BOOK」。

" 笑顔は国境を越えた最良のコミュニケーション "。

21 世紀最初の万博から発信されたこのメッセージは、地球の未来や環境にとって大切な意味を持つ提言として永く記憶されるだろう。

6.Merry from World

水谷孝次が、5 大陸 23 ケ国（イタリア、オランダ、フィンランド、フランス、スペイン、ロシア、エジプト、キューバ、メキシコ、南アフリカ、ケニア、ブラジル、ベトナム、中国、オーストラリア、トンガ王国、インド、タイなど）を回り、2 万人以上の笑顔とメッセージを集めた。「愛・地球博」会期中、愛・地球広場に設置された幅 20m× 高さ 8m の巨大エキスポビジョンで、その多彩な地球人たちの多くの笑顔が毎回 13 分毎日 6 回上映された。

[2005 年日本国際博覧会協会協力]

7.Merry in EXPO 2005

「愛・地球博」会期中、水谷孝次が万博会場へ何度も足を運び、来場者の笑顔を撮影し、メッセージを記録し続けた。会場で行ってきた撮影取材の風景や、自分の Merry メッセージをカメラに向かって明るく語りかける人々の映像と組み合わせ、「Merry from World」とは違った視点から映像を編集。エキスポビジョンで毎日 15 分、1 日ほぼ 1000 人の笑顔とメッセージが次々と上映され、ウェブサイトからも全ての笑顔を見ることができた。

[松下電器産業（株）協力]

8.Merry from you and the world

万博会場内から、カメラ付き携帯電話で撮影した自分や家族、恋人などの写真に、メッセージを添えて指定のアドレスに送信・投稿すると、エキスポビジョンにその写真とメッセージが上映される。

同時に別途設けた専用サイトにデータが保存され、自宅に帰ってからも自分の写真とメッセージを見て楽しめるよう企画された。万博終盤になると、開場直後に 1 日の定員数を大幅に超え、6 万件ものアクセスが殺到した。

[(株) NTT ドコモ・(株) NTT ドコモ東海協力]

MERRY EXPO



EXPO 2005 AICHI JAPAN 25(FRI)MAR→25(SUN)SEP

A smile is a universal language of communication. Merry Expo exists as a communication art platform, using smiles around the world to rediscover our sense of value.



MERRY EXPO



EXPO 2005 AICHI JAPAN 25(FRI)MAR→25(SUN)SEP

笑顔は世界共通のコミュニケーション。「Merry EXPO」は、世界中の人々の笑顔とメッセージを通して、人類共通の価値観を再発見しようとするコミュニケーション・アートです。自然環境を守るためには、人類の平和を欠かすことができません。国、宗教、文化の違いを超えて、違いを認めあい、共通の価値観を見いだすためには、お互いの心を開くこと…つまり「笑顔」が大きな力を発揮すると思うのです。アートディレクター水谷孝次が世界23カ国で集めた人々の笑顔とメッセージを超大画面上映するとともに、情報通信ネットワークを駆使して、広場から世界へもメッセージを発信。また、世界中の人と会場を結んでのライブ交流も可能に。EXPO会場の中心に位置する愛・地球広場のシンボルコンテンツとして最先端の技術を使って、最も根源的な想いを分かち合います。「Merry(しあわせ)」を合言葉に、誰かと微笑みあう瞬間、たったひとつの生命の輝き、地球を大切に思う気持ちは国境を超えて繋がっているのだと実感できることでしょう。

1. Merry from World

アートディレクター水谷孝次が6大陸、23ヶ国で集めた、人々の笑顔とメッセージを通して、世界中に「Merry(しあわせ)」の輪を広げていくプロジェクトです。世界中で撮影された笑顔は、会場の中心に位置する愛・地球広場のシンボルコンテンツとして、エキスポビジョンで上映されます。撮影された全ての笑顔とメッセージはMerry Projectのウェブサイトからも見ることが出来ます。



2. Merry from You and to the World

あなたのカメラ付携帯電話で自分や家族、友人、恋人を撮影した「笑顔のメッセージ」をエキスポビジョンに表示します。



NTT DoCoMo (株)NTTコム・(株)NTTコム東海協力
http://www.merry-expo.jp

3. Merry in EXPO 2005

アートディレクター水谷孝次が世界各国で行った撮影の風景やメッセージを話す人の映像と会期中に水谷が会場を訪れ、来場者の笑顔を描影したものを組み合わせた「Merry from World」とは違った視点の映像に編集しエキスポビジョンで上映します。愛・地球広場のコンセプトをより強く感じてください。

松下電器産業(株)協力
http://panasonic.co.jp/exhibition



4. My paper from merry

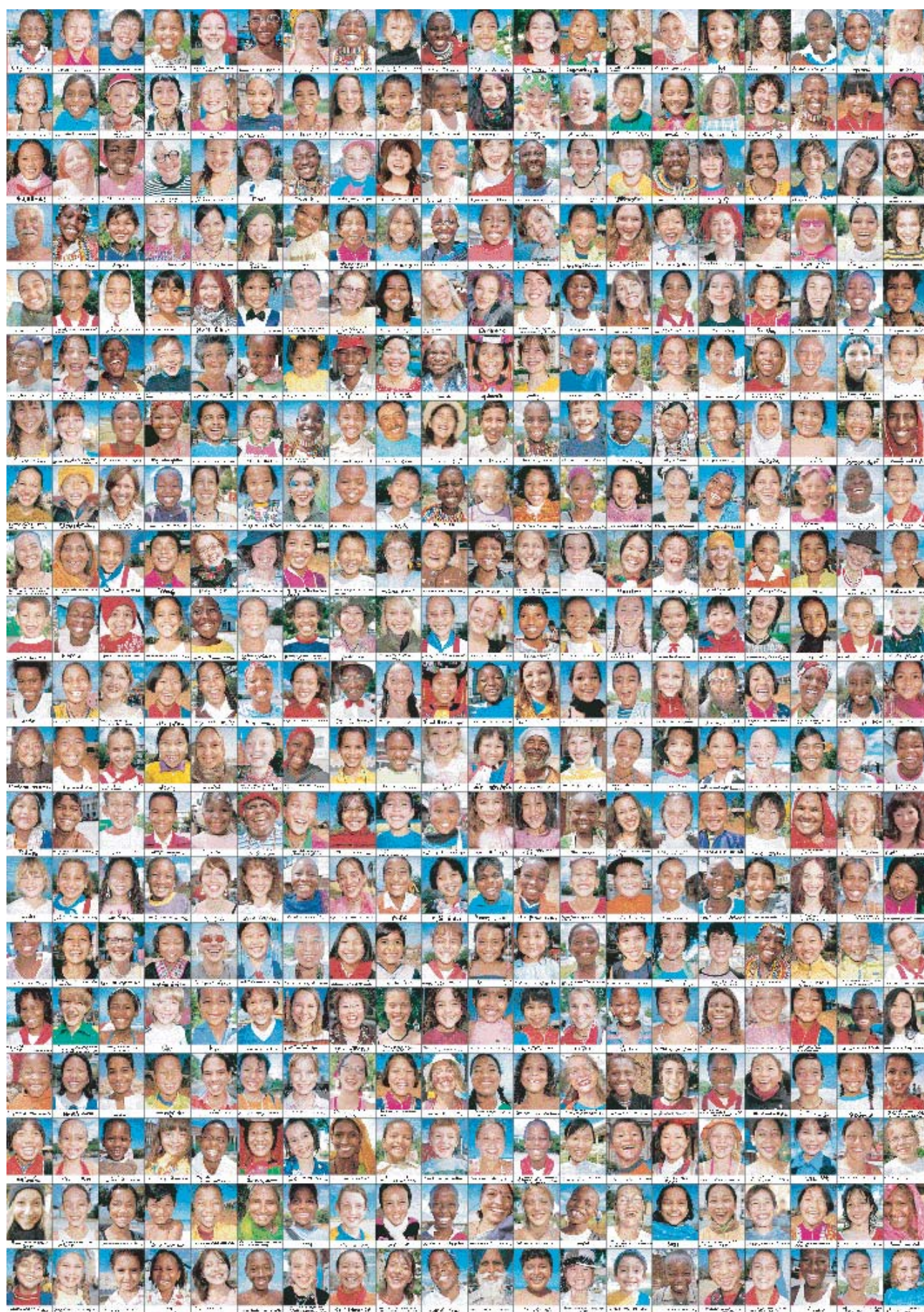
「Merry from You and to the World」でエキスポビジョンで上映された写真とメッセージを、この広場に設けた新聞発行所(愛・地球広場マイペーパーステーション)で朝日新聞社が発行する特別な紙面に刷り込んだ自分だけのオリジナル・マイペーパーを無料で受け取ることができます。メディア朝日 協力



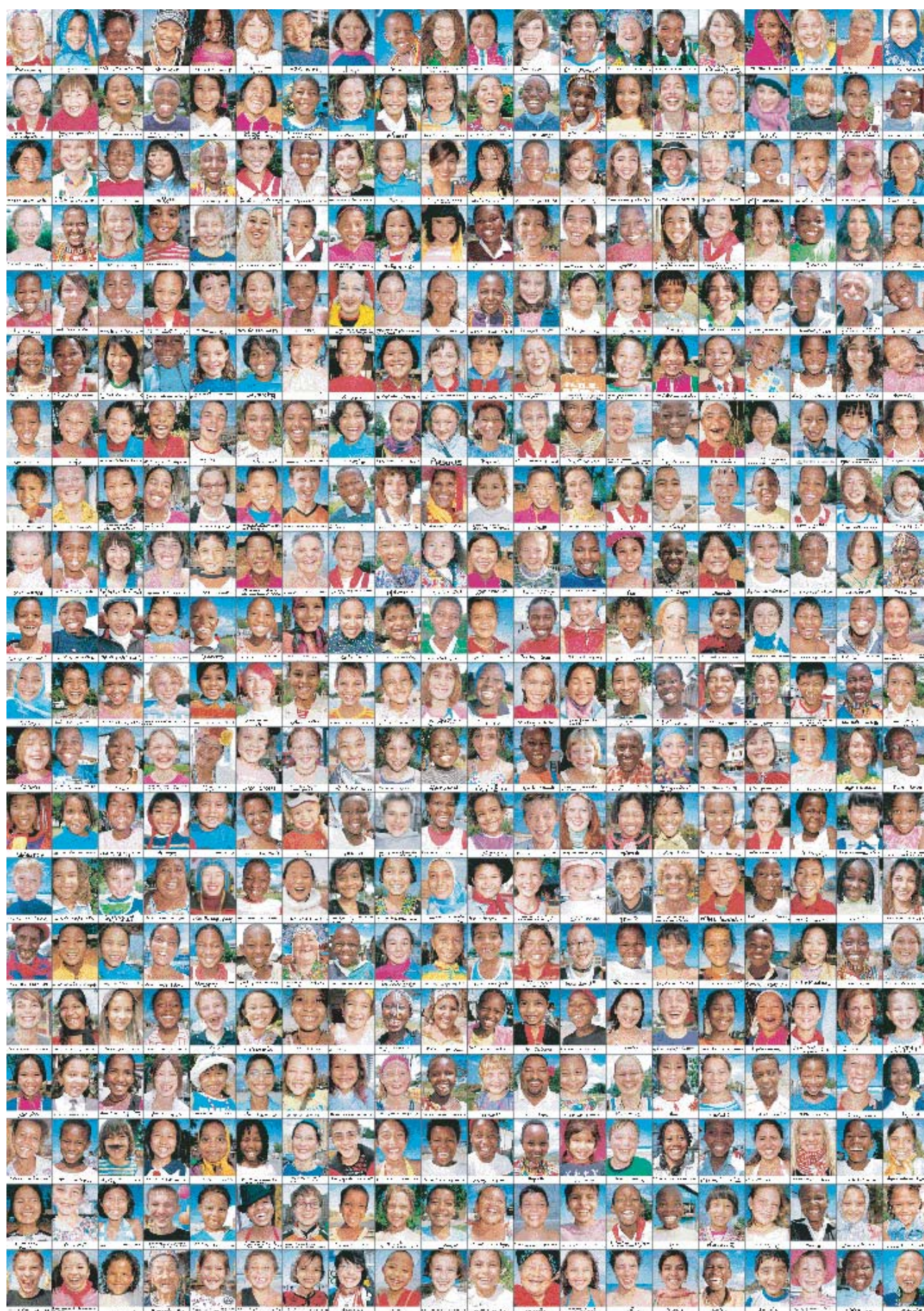
MERRY EXPO POSTER-1



MERRY EXPO POSTER-2



MERRY EXPO POSTER-3



MERRY EXPO POSTER-4



MERRY EXPO / MERRY PROJECT

笑顔は世界共通のコミュニケーション。Merry Expoは世界中の人々の笑顔とメッセージを通して人類共通の価値観を再発見し、世界にMerry(しあわせ)の輪を広げていくコミュニケーションプロジェクト。「あなたにとってMerry(しあわせ)とは何ですか?」という質問を世界23ヶ国20,000人以上の人々に投げかけ、その笑顔とメッセージを集めました。ひとつひとつのMerryな想いが、私たちの未来を明るく照らすことでしょ



MERRY EXPO

MERRY EXPOは人類共通の価値観を再発見しようとするコミュニケーションアートとして会場の内外問わず、世界各地で行われました。「あなたにとってMerry(しあわせ)とは何ですか?」という質問を投げかけ、集められた世界23ヶ国2万人以上の笑顔とメッセージを「愛・地球博」のエキスポビジョンで上映したMerry From Worldを中心に、松下電気、NTTドコモ、メディア朝日の協力を得て、最新技術を使用したコミュニケーションコンテンツを展開。また、地球環境を足下から見直そう」というテーマで、「拾っている姿をアピールすることでゴミを捨てさせないMerryな街づくり」をコンセプトとしたMerry Clean up Projectを世界各国で開催。そして、MERRY EXPOの集大成として万博会場内にある各国のパビリオンからゴミとして出される使用済みダンボールを表紙に再利用した本を出版しました。



Merry from world

5大陸23ヶ国(イタリア、オランダ、フィンランド、スペイン、ロシア、エジプト、キューバ、メキシコ、南アフリカ、ケニア、ブラジル、ベトナム、中国、インド、タイなど)で集めた2万人以上の笑顔とメッセージを「愛・地球博」会期中、愛・地球広場に設置された幅20m×高さ8mの巨大エキスポビジョンで、その多彩な地球人たちの多くの笑顔が毎日上映された。／2005年日本国際博覧会協会協力



Merry in EXPO 2005

会期中、水谷孝次が万博会場へ何度も足を運び、来場者の笑顔撮影し、メッセージを記録し続けた。会場で行ってきた撮影取材の風景や、自分のMerryメッセージをカメラに向かって明るく語りかける人々の映像を上映した。エキスポビジョンで毎日15分、1日ほぼ1000人の笑顔とメッセージが次々と上映され、ウェブサイトからも全ての笑顔を見ることができた。／松下電器産業(株)協力



Merry from you and to the world

携帯電話で撮影した自分や家族、恋人などの写真にメッセージを添えて指定のアドレスに送信するとその写真とメッセージが巨大ビジョンに上映される。また同時に専用サイトにデータが保存され、帰ってから写真とメッセージを楽しめる。万博終盤になると開場直後に1日の定員数を大幅に超え6万件ものアクセスが殺到した。／(株)NTTドコモ・(株)NTTドコモ東海協力



My paper from merry

"My Paper from merry"は自分の笑顔とメッセージが掲載された世界に1枚だけの新聞。"Merry from You and to the World"で上映されると携帯電話にIDが送られ広場にあるマイペーパーステーションで無料で受け取れる仕組み。紙はバナナの実を収穫した後に普通に捨ててしまうをリサイクルした特殊なバナナペーパー。総発行部数は34万部に達した。／メディア朝日協力



MERRY EXPO Clean up Project

地球環境を足元から見直し、ゴミを拾っている姿をアピールすることでゴミを捨てさせないMerryな街づくりを目指したクリーンアップを世界各国で行った。会期中には愛・地球博のパートナーシップ事業として東京・名古屋で全4回実施。集められた1万個のゴミ袋には、キューバの子供のメッセージが太陽の光に輝いていた。「世界に希望を!」



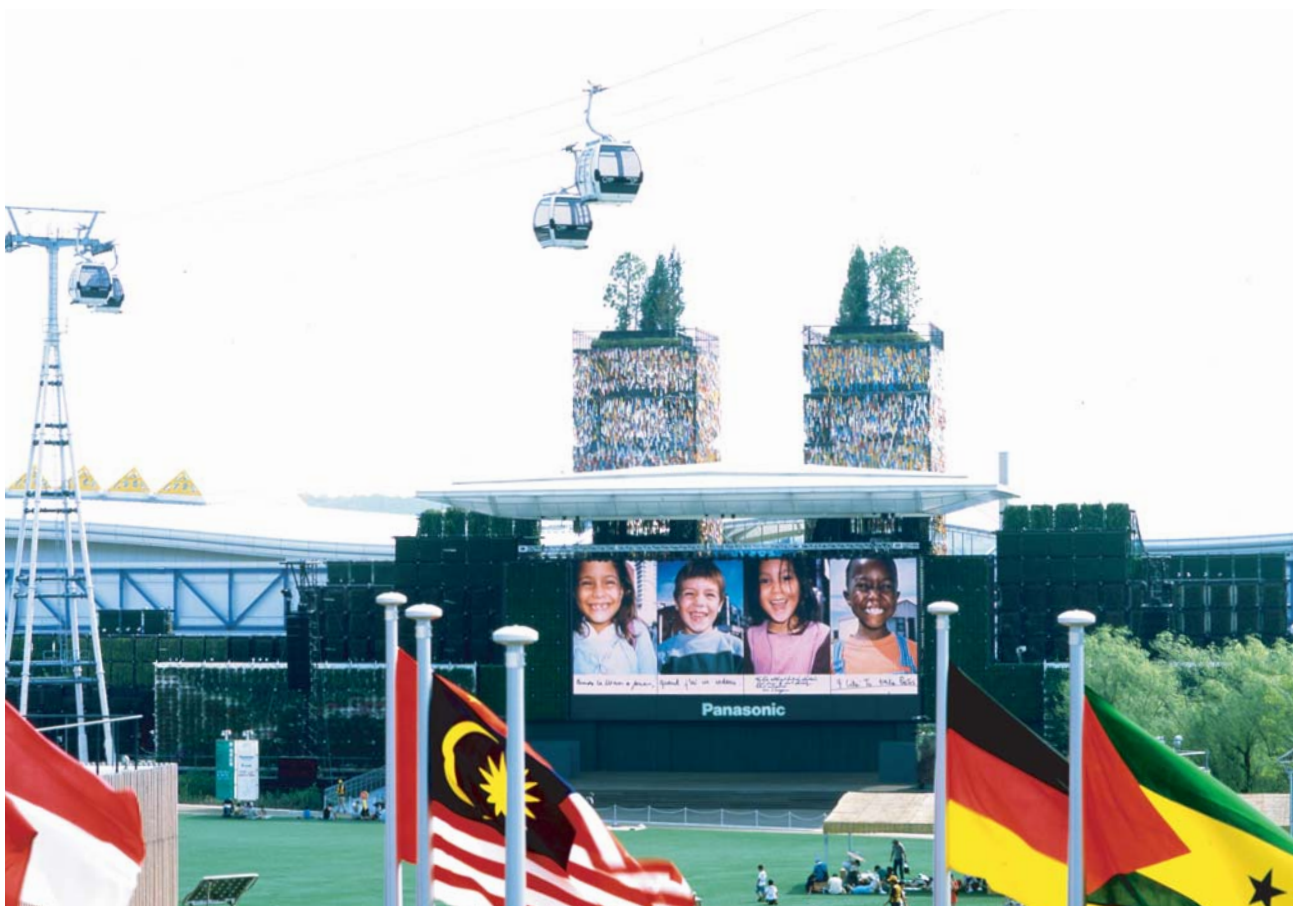
MERRY EXPO / Book of global exchange

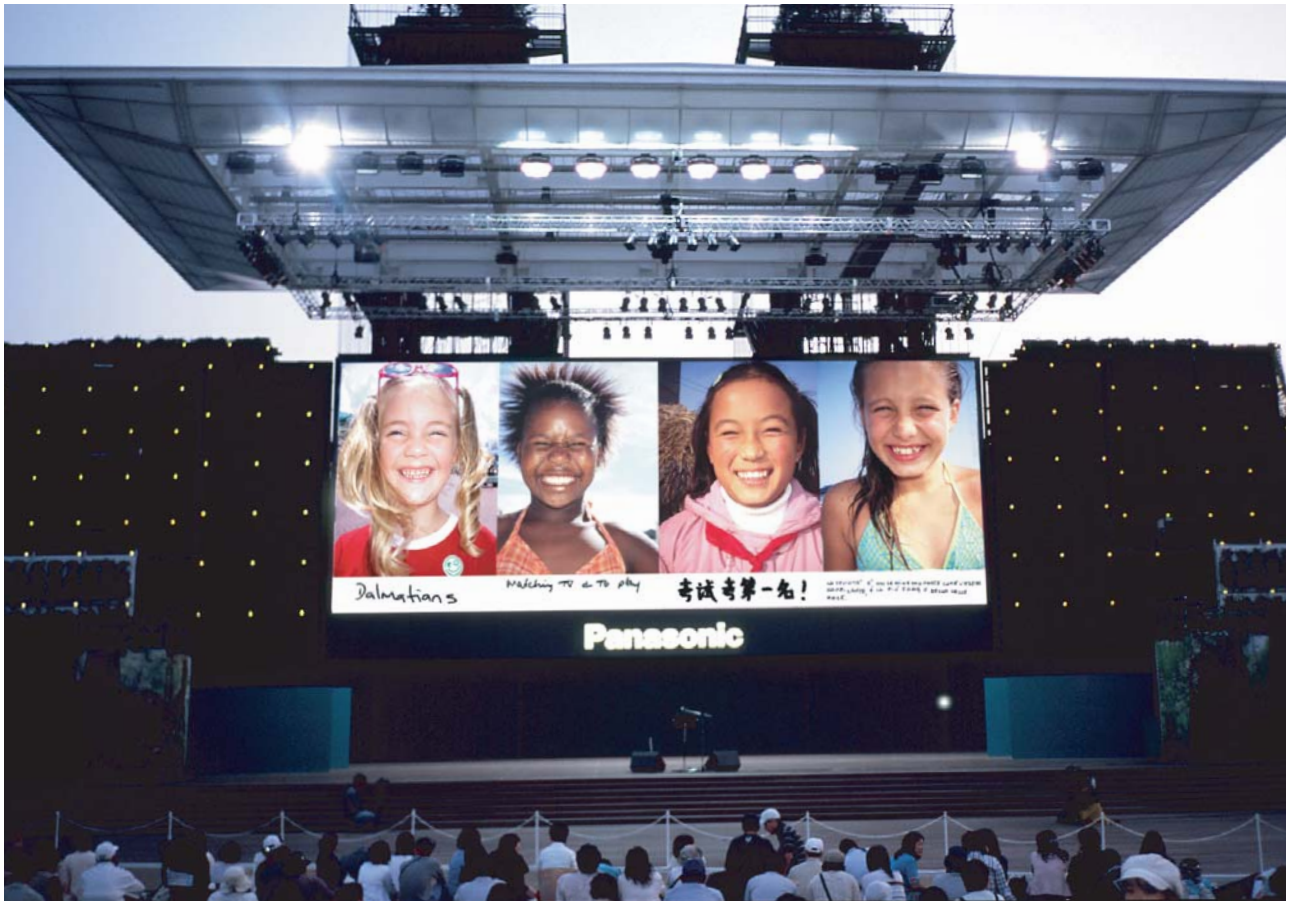
MERRY EXPOの集大成として万博会場内にある各国のパビリオンからゴミとして出された使用済みダンボールを表紙に再利用しました。ダンボールの断裁と製本作業は全て手作業で行われるため、限定7000部発行。1冊1冊、全てが違う本、世界で一つだけの本としてエキスポビジョンを東京・名古屋で開催しました。



Merry from World

5大陸23ヵ国(イタリア、オランダ、フィンランド、スペイン、ロシア、エジプト、キューバ、メキシコ、南アフリカ、ケニア、ブラジル、ベトナム、中国、インド、タイなど)で集めた2万人以上の笑顔とメッセージを「愛・地球博」会期中、愛・地球広場に設置された幅20m×高さ8mの巨大エキスポビジョンで、その多彩な地球人たちの多くの笑顔が毎日上映された。 2005年日本国際博覧会協会協







Merry in EXPO 2005

Merry
in EXPO 2005

会期中、水谷孝次が万博会場へ何度も足を運び、来場者の笑顔を撮影し、メッセージを記録し続けた。会場で行ってきた撮影取材の風景や、自分のMerryメッセージをカメラに向かって明るく語りかける人々の映像を上映した。エキスポビジョンで毎日15分、1日ほぼ1000人の笑顔とメッセージが次々と上映され、ウェブサイトからも全ての笑顔を見ることができた。／松下電器産業(株)協力





Merry from You and to the World

携帯電話で撮影した自分や家族、恋人などの写真にメッセージを添えて指定のアドレスに送信するとその写真とメッセージが巨大ビジョンに上映される。また同時に専用サイトにデータが保存され、帰ってから写真とメッセージを楽しめる。万博終盤になると開場直後に1日の定員数を大幅に超え6万件ものアクセスが殺到した。／(株)NTTドコモ・(株)NTTドコモ東海協力



My Paper from merry

"My Paper from merry"は自分の笑顔とメッセージが掲載された世界に1枚だけの新聞。"Merry from You and to the World"で上映されると携帯電話にIDが送られ広場にあるマイペーパーステーションで無料で受け取れる仕組み。紙はバナナの実を収穫した後に普通は捨ててしまう茎をリサイクルした特殊なバナナペーパー。総発行部数は34万部に達した。／メディア朝日協力



9.My paper from merry

自分の笑顔とメッセージが掲載された、世界に一枚だけの新聞。

「Merry from You and to the World」でエキスポビジョンで上映された笑顔の写真とメッセージは、朝日新聞社が発行するオリジナル新聞にプリントされ、世界に1部だけのマイペーパーを無料で受け取ることができます。

マイペーパーはA3判両面カラーで、その日の内外のニュースや広場の情報、広場の遊び方マップなどが盛り込まれています。使用した紙は、バナナの実を収穫した後に普通は捨ててしまう茎をリサイクルした特殊な"バナナペーパー"。

希望者は、携帯電話に表示されるID番号を、愛・地球広場マイペーパーステーションの受付カウンターで伝えて下さい。本人確認したうえで、会期中いつでもマイペーパーをお渡しします。自宅に帰ってからも、パソコンでマイペーパーを見たり、プリントしたりすることが出来ます。会期中の総発行部数は34万部に達した。[メディア朝日協力]

10.Merry Workshop

EXPOが開幕して間もない4月16日。長久手愛知県館「あいち・おまつり広場」では「尾張15市町のMerryな物語」と題したイベントが行われた。この広場には、愛知が発信したいメッセージや地域の魅力を伝える6つのストーリー、12の展開テーマが設定されており、その中の「尾張東部地域の日」をMerryが担当。

この日のテーマである「伝統をデザインする。」を何かMerryらしく表現しようと思案した末、その地域15市町に昔から伝わる民話や伝承話などを"大きな絵本オブジェ"として展示することに。オブジェの作り手として選ばれたのは、尾張東部に住み未来を担っていく子どもたち。各市町で15回にわたりワークショップを開催した。

地域に伝わる大切な物語を調べて知ることから始め、力を合わせてオブジェを制作。

どの市町のワークショップも笑顔が絶えず、元気がいい子どもたちは心をひとつにして参加した。

イベント当日は天気の良いなか、15の絵本オブジェがお祭り広場を華やかに飾り、たくさんの来場者が足を止めた。

ステージでは、制作に参加した子どもたちの笑顔とMerryなメッセージが大型ビジョンで紹介された。

11.Merry EXPO Clean up Project

"Merry Clean Up Project"は、地球環境を足元から見直し、自分たちが出来ることから世界を変えていこう、と始まった企画。ゴミを拾うこと自体よりも、拾っている姿をアピールすることで、

ゴミを捨てさせないMerryな街づくりを目指している。撮影で訪れた23カ国でも水谷を中心にこのプロジェクトを実施。

キューバでは周りで見えていた多くの子どもたちが「一緒にゴミ拾いさせて!」と集まってきたり、

オーストラリアではアボリジニの子ども達が、ゴミ袋を取りあってまで一緒にゴミ拾いをしてくれた。

子供達は本能的に"環境"を感じていた。

会期中には、愛・地球博のパートナーシップ事業、"Merry Expo Clean Up Project"として全4回のクリーンアップを実施。第1回の「ゴミゼロの日」5月30日。名古屋市中区栄のオアシス21周辺でMerry EXPO CleanUp Projectが開催されました。参加したのは美容やデザインを学ぶ700人以上のクリエイティブな若者達が参加し、そしてキッコロとモリゾー、3名のZip-FMのナビゲーターや「どですか」の矢野きよ実さん、万博のサテライト会場である「ディンドンダン」でナビゲートする倉本美津留さんらも参加。集合場所となったオアシスのフロアはとにかくひとでいっぱい。10チームを越えるプレスも来ました。「ゴミを拾うことが目的ではなく、ごみを捨てない街の空気を作ろう。ゴミニケーションしよう!」という水谷さんのあいさつと共に第1回Merry EXPO CleanUp Projectスタート。

キッコロとモリゾーに見送られ、Merry マークが入ったお揃いの T シャツを着た 700 人の若者たちは、笑顔がプリントされたグリーンのゴミ袋を手には街へ出ます。25 チームそれぞれのリーダーが自分たちのチームを誘導し、植え込み等に捨てられた缶・ビン・ペットボトルやタバコの吸い殻などのゴミを拾い集めました。

途中、仲良くなったチームメイトと一緒に写真を撮ったりみんなとても楽しそう。

最後にオアシス 21 にもどり 600 袋のゴミを前に全員で記念撮影。名古屋では初めて行った Merry CleanUp ですが、大成功に終わり、名古屋の街が本来持つ " すっぴん " の美しさを取り戻し、さらに笑顔一杯の Merry な街になりました。

東京からも Merry の輪を広げようと実施された第 2 回の新橋・汐留では、地元の小学生や出勤前の会社員などさまざまな人々が参加。7 月 22 日の午前 8 時。笑顔がプリントされたグリーンのゴミ袋とヒバサミを持ったたくさんの人たちが、新橋の街で一斉にゴミ拾いをしました。愛・地球博のパートナープロジェクトであるこの Merry Expo Clean Up Project in Shinbashi に参加したのは新橋の地元の人や小学生、Merry の HP やチラシをみて申し込んでくれた人など、さまざまな人たち。全員がおそろいの T シャツを着て新橋の SL 広場に集合しました。

「ゴミを拾うことよりも、その姿を見てもらうことでゴミを捨てさせない街の空気をつくっていかう！」という水谷さんのあいさつとともに 4 つのチームに分かれた人々は街へ繰り出します。

愛・地球博のマスコットキャラクター、キッコロとモリゾーも参加し、みんなでたのしくゴミを拾うこと 1 時間。

短い時間でしたが、SL 広場には 150 袋のゴミが集まりました。ゴミ拾いのあとは参加者同士で写真を撮りあったり、環境について話しあう光景も。万博開催地の愛知だけではなく、東京からも Merry の輪を広げるために行った今回のゴミ拾いは大成功に終わりました。

第 3 回は愛・地球博が閉幕を迎える直前の 9 月 17 日に、六本木ヒルズ自治会とのコラボレーションによる、MERRY EXPO+ ROPPONGI CLEAN UP として実施した。土曜日の朝の六本木にはおそろいの T シャツに身をつつんだ人たちが大集合。Merry な笑顔がプリントされたゴミ袋を片手に六本木の街を一斉にクリーンアップ。愛・地球博公式キャラクターのキッコロとモリゾーや、ロクロク星人のマサムネとスピカも応援に駆けつけてくれました。

第 4 回の 9 月 19 日、最後の MerryEXPO クリーンアッププロジェクトが名古屋で開催。天気も良く、Merry 晴れ。今回で 4 回目になるが、すべて、良かった。本当に最高の Merry だ。朝、午前 10:00、協力して頂いている、Zip FM に出演。今回は、インタラクティブに行うため、当日参加も OK。DJ の、渡辺麻耶さんと、「200 万人で Merry な街づくり」について、語り合う。今回の様に、FM ラジオと同時進行でクリーンアップを行うことは、本当に 200 万人と、一緒に行っている気分になる。やはりメディアの力はスゴイ。結果的にはグリーンと当日参加が、増えた。今回はより多くの人にごみ拾いを見てもらおうと、白川公園、名城公園、鶴舞公園の 3 カ所から出発。

一路、栄のテレビ塔に向った。今回は 5・30 第 1 回クリーンアップより、小さな子供の参加が多い。

お母さんと一緒に参加しているが、大変なパワーだ！先頭は子供達。本能的にどんどん拾う。暑くて汗びっしょりだが、とても元気。この子供達とコミュニケーションしながら、ごみの取り合い競争。

こんな子供達を見て「地球の未来は Merry だ！」と思った。この子供達は、今後、将来、ゴミを道に捨てることはしないと思う。これからは、「Merry クリーンアップは、未来の子供達と一緒にやろう！」そういえば前回の六本木も、子供がいっぱいだった。キューバで 1 人ゴミ拾いをしていたら、子供達が、「いっしょにゴミ拾いさせて！」と言って来てくれ一緒にゴミ拾いをした感動と、同じいやそれ以上の感動を、名古屋で、受けることが出来て本当に、Merry だった。いっぱいのゴミ袋には、このキューバの子供のメッセージが、秋の太陽に光っていた。「世界に希望を！」

Merry Workshop





MERRY EXPO CLEAN UP PROJECT



2005.09.19(mon) 1:00pm—3:00pm in NAGOYA

200万人で、Merryな街づくり。

愛・地球博が閉幕を迎える直前、9月19日、あらためて「Merryクリーンアッププロジェクト」が、ここ「名古屋」で開催されます。第1回目の5月30日には、700人の参加者がMerryのオリジナルTシャツを着て、栄を中心としたエリアのゴミを拾い、名古屋が本来持つ「すっぴんの美しさ」を取り戻しました。第2回目の今回は、さらにグレードアップ!ゴミ拾いに加えて参加者がグリーンを植え、地球にもMerryな街づくりをします。元々このプロジェクトの産みの親である「Merry」は「人々の笑顔で街を元気にしよう」というコンセプトのもと、2000年にアートディレクター水谷孝次の呼びかけで始まり、世界中から集めた笑顔とメッセージをポスターにして展示するなど、さまざまなアート活動として展開してきました。その笑顔の蓄積は、震災後の神戸、テロ1年後のN.Y.をはじめ、ヴェネチア、モスクワ、ハバナ、ケープタウン、ナイロビ、ブエノスアイレス、上海、シドニー、デリーなど23ヶ国以上、20,000人を超えるほど。愛・地球博(愛・地球広場)で、大型ビジョンいっぱい映し出された笑顔をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。その「Merry」の活動の中で大きな柱の一つに成長したこの「ゴミ拾いプロジェクト」。地球環境を足元から見直し、いま自分たちが出来ることから変えていく、この参加型イベントを通して、まずは名古屋に暮らす200万人で、Merryな街をつくれたら、きれいになった街に広がるMerryが、日本中の、やがて世界中のMerryに育っていくことでしょう。たまたま参加者を募集中!みなさんの参加をお待ちしています。



MERRY EXPO CLEAN UP PROJECT

日時／9月19日(月・祝) 1:00pm—3:00pm

場所／名古屋市内(雨天決行)

集合時間／0:30pm

集合場所／名城公園／白川公園／鶴舞公園(詳細はWeb siteを参照下さい。)

募集対象者／どなたでも参加OK!!(要予約) 愛・地球博公式キャラクター、モリゾーとキッコロも参加!!

詳細／MERRY NAGOYA HP: www.merry-nagoya.jp MERRY HP: www.21merry.net

申し込み／携帯又はPCからMERRY NAGOYA HPにアクセスし、申し込みを行なって下さい。

問い合わせ／MERRY EXPO CLEAN UP PROJECT in NAGOYA運営事務局

TEL: 052-957-7444 FAX: 052-957-7480 e-mail: join@merry-nagoya.jp

スターキャストテレビの9月19日(月・祝)午後6時—8時公開放送の矢野きよ美さんと倉本実津留さんがお届けする「ディンドンタン」最終回に水谷孝次がゲストとして出演、当日の様子をレポートします。みなさん、ささしまサテライト会場内「ディンドンタン」へも是非お越しください!!

Merry EXPO Clean Up Map

撮影に合わせて、世界23ヶ国以上でグリーンアップを行ってきました。



特別協賛 / OASIS GROUP

後援 / 名古屋市 連携協力 / 財団法人 2005年日本国際博覧会協会

協力 / ZIP-FM77.8

協賛 / THE GRAND TIARA JAPAN EXPO







12.Merry EXPO book of global exchange

21世紀最初の万博「愛・地球博」を訪れた2200万人の来場者たち、実はそのみんなが多かれ少なかれ、ある共通のイメージトリップを瞳にしまい、会場を後にした、様々な国の子どもたちの満面の笑みが、「愛・地球広場」の巨大ビジョンでずっと流され続けていた”アートの実験”であり、世界23ヶ国を旅して2万人を越える子どもたちの笑顔とメッセージを記録。この壮大なアクションの成果は、笑顔の万博=Merry EXPOとして万博会場全体をポジティブなテンションで包み続け、さらにフリーペーパー、ウェブサイトなどを通して世界に”Merry（しあわせ）の輪”を広げてきたのだった。

そして今、その感動のビジュアルが、万博のため、世界中から集められ使用済みとなった段ボールをリユースし、1冊ずつ手製本されて世界各地へと舞い戻る「Book of global exchange」プロジェクトに結びついた。人に個性があるように、1冊ずつが1点もの、世界に1つだけの本、しかも本の売り上げは南アフリカ共和国の子どもたちへ学校を贈るために役立てられる。地球の未来を明るく照らしてくれる子どもたちの笑顔が、この夢あふれる”本の実験”を通じて各地で希望を呼び覚まし、何かを始めさせ、そのパワーがまたいつか、私たちの心に戻ってくるに違いない。

装丁は「MerryEXPO」と印刷されたシールを背表紙に貼る以外は、表紙も裏表紙もリサイクルのダンボール。B6サイズ、180ページの中に、Merry From WorldとMerry in EXPO2005で撮影した20,000人以上の中から、およそ300人以上の笑顔と1000人以上のメッセージを収録します。段ボールは万博終盤から閉幕後、万博会場で片付けを行っていた海外パビリオンやゴミの集積所を代表の水谷とスタッフがまわり、集めました。カッターで本の大きさに裁断し、テープで製本する工程は全て手作業のため、限定6000部の発行です。

MERRY EXPOによって、「世界から広場へ、広場から世界へ」という双方向のコミュニケーションが実現した愛・地球広場。今回制作している「Merry EXPO BOOK」では、集めた膨大な笑顔とメッセージの蓄積と、ネットワークを活かし、21世紀初の万博発のムーブメントを未来に繋げていくことを目指しています。万博のために愛知に集まった世界各地のダンボールは、その中に笑顔とメッセージを包み、再び世界中に戻っていく。その「本」=「愛・地球広場から発信するメッセージ」は、2005年愛・地球広場で起こった出来事を世界中に伝えるとともに、地球の未来や環境にとって大変意義のあるものとして未来に残ることでしょう。また、Merry from Worldの撮影で水谷が訪れた際に、貧困が際立った南アフリカ。この本の売り上げは南アフリカに学校を贈るために役立てます。



MERRY EXPO

Book of global exchange

180 Pages

Size 182×128

4 Colors

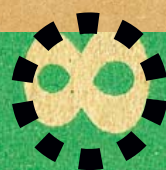
100% Recycled cardboard

Cover assembled by hand

**Japan Association for
the 2005 World Exposition**

Merry Project

<http://www.21merry.net>



EXPO
2005 AICHI
JAPAN



MERRY EXPO Book of global exchange

21世紀最初の万博「愛・地球博」を訪れた2200万人超の来場者たち。実はその皆が多かれ少なかれ、ある共通のイメージトリップを脳にしまい会場を後にした。様々な国の子どもたちの満面の笑みが、「愛・地球広場」の巨大ビジョンでずっと流され続けていた、その映像作品のことである。それが「Merry EXPO」。「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合言葉に過去5年間、形を変えて展開されてきた「アートの実験」であり、世界23か国を旅して2万人を超える子どもたちの笑顔とメッセージを記録。この壮大なアクションの成果は、笑顔の万博=Merry EXPOとして万博会場全体をポジティブなテンションで包み続け、さらにフリーペーパー、ウェブサイトなどを通して世界に「Merry(しあわせ)の輪」を広げてきたのだった。そして今、その感動のビジュアルが、万博のため世界中から集められ使用済みとなった段ボールをリユースし、1冊ずつ手製本されて世界各地へと舞い戻る「Book of global exchange」プロジェクトに結びついた。人に個性があるように、1冊ずつが1点もの。世界に1つだけの本。しかも本の売り上げは南アフリカ共和国の子どもたちへ学校を贈るために役立てられる。地球の未来を明るく照らしてくれる子どもたちの笑顔が、この夢あふれる「本の実験」を通じて各地で希望を呼び覚まし、何かを始めさせ、そのパワーがまたいつか、私たちの心に戻ってくるに違いない。



タイトル／MERRY EXPO - Book of global exchange -

著者／水谷孝次 アートディレクション・写真／水谷孝次 編集／和田あずさ テキスト／豊田章一郎 金子義則 翻訳／日本リンガサービス
制作／水谷事務所 デザイン／スズキユタカ 小野寺健介 発行／Merry Project 〒106-0032 東京都港区六本木6-3-15泰地
六本木マンション#1201 水谷事務所 tel/03-3478-1931 fax/03-3478-2787 e-mail/mizutani@remus.dti.ne.jp
web site/http://www.remus.dti.ne.jp/~mizutani/ 発売／新風舎 〒107-0062 東京都港区南青山2-22-17
el/03-5775-5040(代表) tel/03-3746-4648(営業) 印刷／凸版印刷株式会社 製本／水谷事務所 ©Koji Mizutani 2005
2005年12月15日発売 定価1,500円(税別) ISBN 4-7974-8770-4 C0072 ¥1500E

全国の書店、またはMerry Project Web Siteなどでご購入出来ます。

本書の一部または全部を無断で転載・複製することを禁じます。

段ボールをリサイクルした手製本の為、多少の汚れや傷があったり、商品によって製本に違いがあります。

Other Merry books and free paper

1.Merry (INFAS)1999 2.Merry (BAUHAUS)2000 3.Merry at Roppongi 2001 4.Merry - London Life 2001 5.Merry in KOBE 2002
6.Merry in New York (free paper)2003 7.Merry in Tokyo (free paper) 2003 8.Merry in Sapporo (free paper) 2004 9.Merry Expo (free paper) 2005



<http://www.21merry.net>



MERRY EXPO

Book of global exchange

EXHIBITION

「あなたにとってMerry(しあわせ)とは何ですか?」世界中で出会った、たくさんの笑顔とメッセージで、Merryの輪を広げていく「Merry Project」ミキモト主催「Merry EXPO」は、その最新エキシビション「愛・地球博」で行なわれた「Merry EXPO」と、万博会場の使用済み段ボールをリユースした、手作り写真集の刊行「Merry EXPO-book of global exchange」を発展させた、笑顔あふれるインスタレーションを展開します。



02.FEB-14.FEB TOKYO GINZA

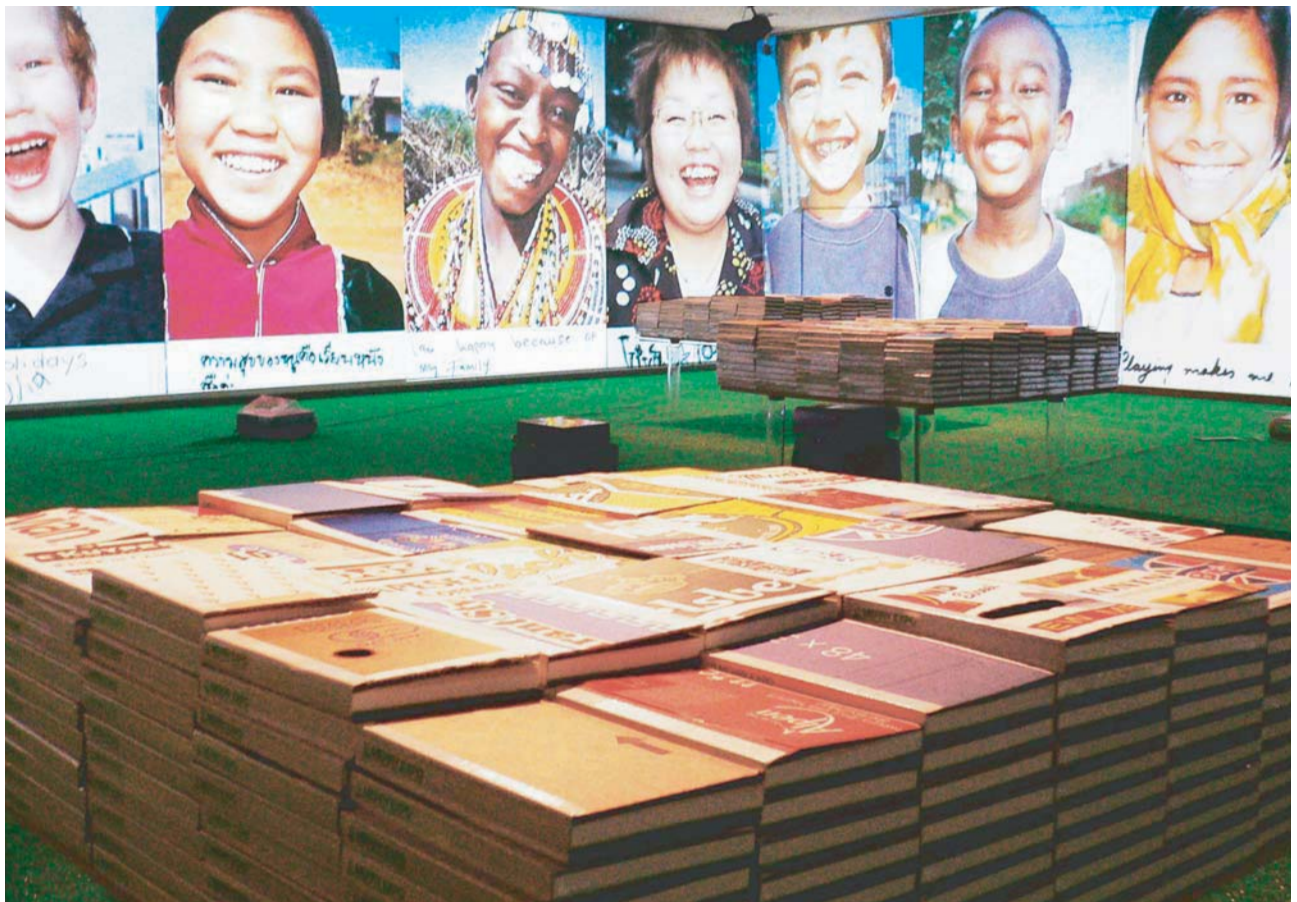
23.FEB-14.MAR AICHI NAGOYA

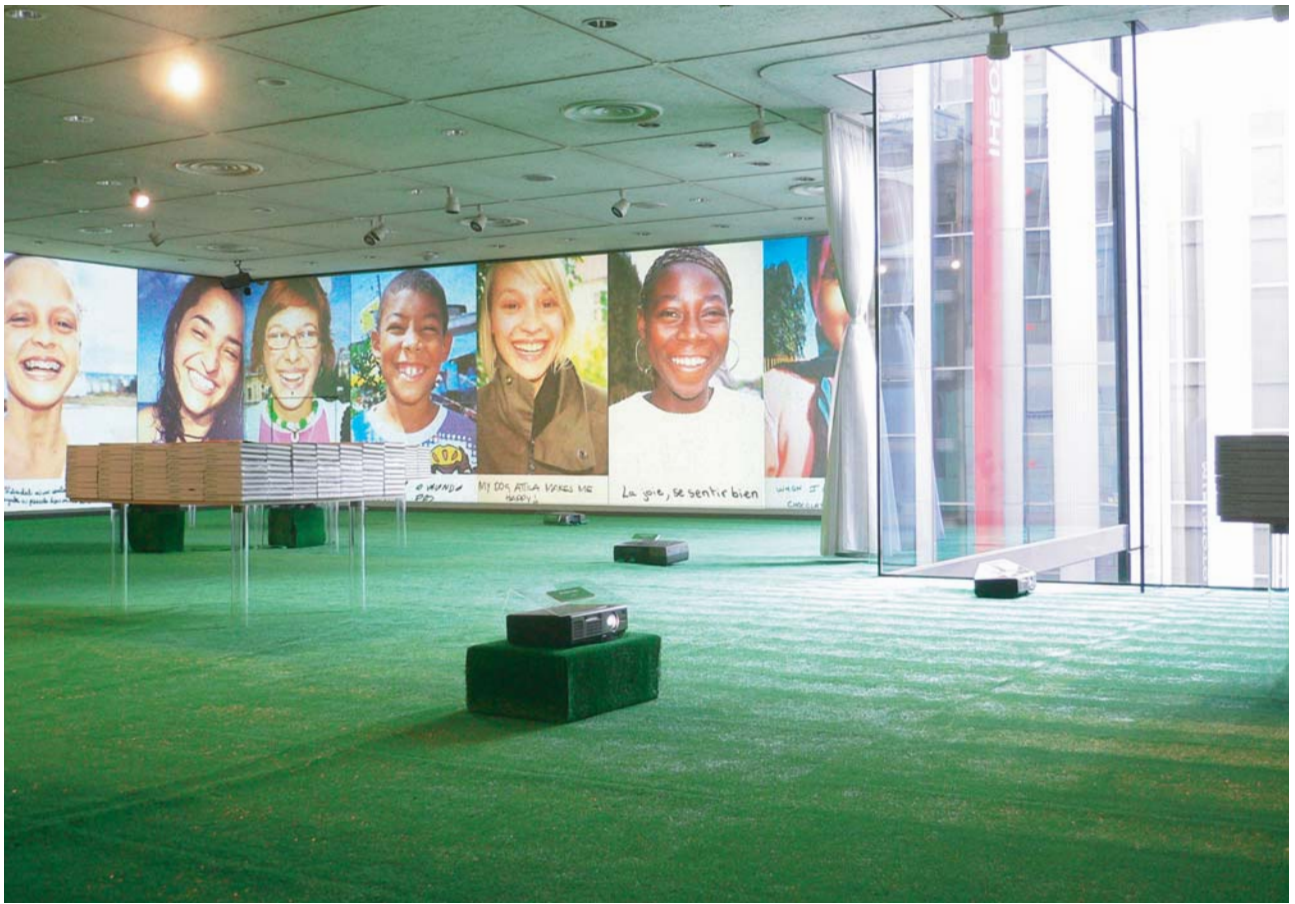
日時:2006年2月2日(木)~2月14日(火) 11:00~19:00(水曜日は定休日)
場所:ミキモト本店 6階ミキモトホール 東京都中央区銀座4-5-5 TEL/03-3535-4611

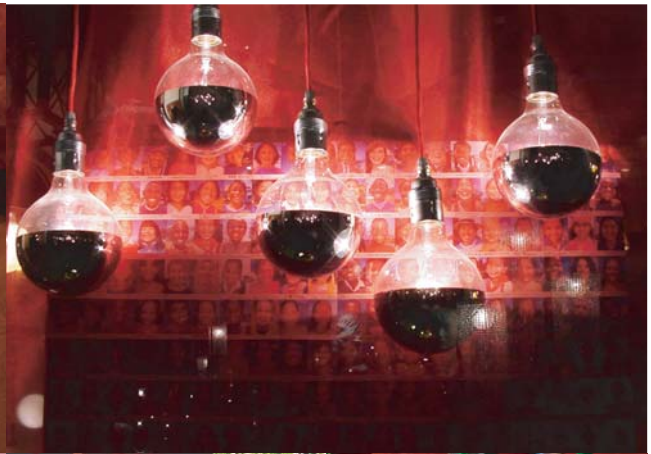
日時:2006年2月23日(木)~3月14日(火) 10:30~18:30(水曜日は定休日)
場所:ミキモト名古屋店 地下1階 名古屋市中区栄3-15-37 TEL/052-261-1808

主催:株式会社ミキモト/企画制作:MERRY PROJECT/問い合わせ先:ミキモトカスタマーズ・サービスセンター TEL:03-5550-5678/MERRY PROJECT WEB SITE: <http://www.21merry.net>









MERRY MESSAGE CD,DVD



「あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢etc…)とはなんですか？」

このシンプルで正解のない質問に対する、世界中からの声や映像によるメッセージがCDとDVDになりました。これまでのMERRYは、笑顔を「写真+手書きのメッセージ」という形で表現していました。その笑顔はどれも心癒されるものばかりで、いつも、多くの方からご好評をいただいています。でも、この笑顔が動いたら？この笑顔がしゃべったら？

そんな発想からできたのが、今回のCDとDVDです。



CDのコンテンツには、2000年以降、MERRYの写真撮影の際に録音されたメッセージや、イベント期間中に電話から投稿されたものが使用されています。また、目の不自由な人にも手に取って頂ける様に、パッケージには点字を使用し、デザインをしました。



MERRY MESSAGE CD 定価1,500円（税別）

収録分数 64分

- 01.MERRY CHILDREN AROUND THE WORLD ♪
- 02.MERRY IN NEW YORK ♪
- 03.MERRY TOKYO LIFE ♪
- 04.MERRY LONDON LIFE ♪
- 05.MERRY IN JAPAN ♪
- 06.MERRY EXPO FROM AROUND THE WORLD ♪

DVDの映像は、2004年から2007年にかけて世界各国で録画したもので、もちろん日本語の字幕付きです。2005年の愛知万博で大人気を集めたMERRY from Worldも収録されています。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、このCDやDVDを手にした人がみんなそれぞれにMERRYな世界を感じられるように、様々な工夫を凝らした作品です。きっとたくさんの人に気に入っていただけるはずです。



MERRY MESSAGE DVD 定価1,900円（税別）

収録分数 101分

- 01.MERRY EXPO
- 02.MERRY AROUND THE WORLD
- 03.MERRY PROJECT HISTORY

朝を迎えられること。幸福就是飄浮在爱的海洋中的一叶小舟。Happiness is pure realness. 友達と一緒にいること。La mot que anh song chung mot ma. The best cure there is. Smile!

朝を迎えられること。幸福就是飄浮在爱的海洋中的一叶小舟。Happiness is pure realness. 友達と一緒にいること。La mot que anh song chung mot ma. The best cure there is. Smile!

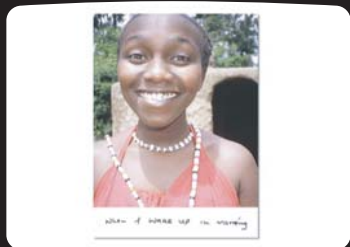
朝を迎えられること。幸福就是飄浮在爱的海洋中的一叶小舟。Happiness is pure realness. 友達と一緒にいること。La mot que anh song chung mot ma. The best cure there is. Smile!

What is MERRY for you?

MERRYなメッセージがいっぱい入ったCDとDVDが遂に完成！WEBサイトも日々進化中！

www.merryproject.com

MERRY MESSAGE DVD



Merry エコバック、エコ Book、MerryT シャツ



15.MERRYこどもの森づくり

100年後の子どもたちにブナの森をプレゼントしよう！

1年目) 地元の森へ行き、子どもたちの手で種を拾い集める

2年目) 保育園、幼稚園で苗木を育てる

3年目) 地元の森に育てた苗木を植える



植えられた木が森になるには何年かかることだろう。

子どもたちが思い思いに植えたブナの苗木、早く大きくなあれと Merry な願いがこもり、

みんなとても Merry になっていく。こうして植えられたブナの木は子どもたちが所有者になる。

今、地球ではすごい勢いで木が切られ、森がなくなり、雨が降らなくなり、すごい勢いで砂漠が広がっている。

これからの子どもたちのためにも、良い環境を残すのは私達の役目である。

◎森に緑、空に雲、子どもに笑顔／ Merry なこどもの森づくり運動概要

運営趣旨

子どもたちの「生きるチカラと健全な資質」を育むためには、
幼児時代の十分な**自然体験活動**と**環境学習**が必要であると考え、就学前の子どもたちに、
森づくり活動を通して継続的な自然体験活動と環境学習の場を提供。
さらに、その運動を幼稚園、保育園のネットワークを通じて全国に拡げることが目的とします。
2006年秋に全国5箇所モデル事業を実施します。

森づくり活動実施概要

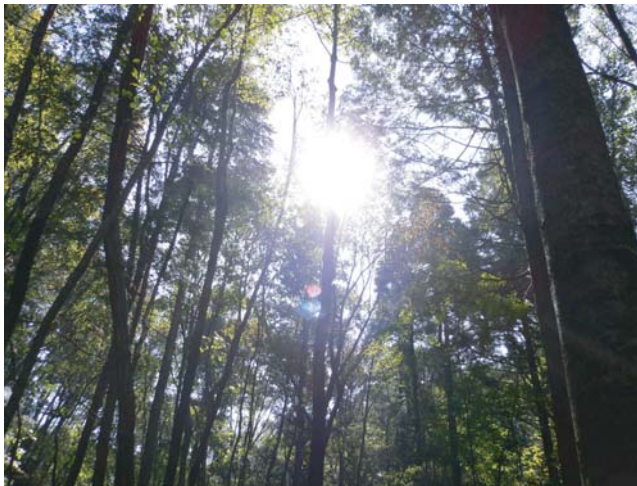


MERRYこどもの森づくりキット



MERRYこどもの森づくりがこどもたちのために森づくりキットをつくりました。森に接することによって、私たちと自然とのコミュニケーションを考えるキットです。森からのメッセージを感じることで理論だけではなく、なぜ私たちが森を育んでいかなければならないか、こどもたちが直接感じることを助けるツールとして考えました。お母さん、お父さん、こどもたちと一緒に森のこと、みんなの地球のことを笑顔で考えてあげてください。この森づくりキットの売り上げの一部は「MERRY こどもの森づくり」に役立てられます。本事業は、愛・地球博の理念継承を目指す市民ネットワーク「EXPO Cafe」の呼びかけで、清水國明が代表を務める「自然暮らしの会」が中心となって推進する「SAVE KIDSキャンペーン子どもの森づくり運動」と「MERRY PROJECT」が出会い、誕生したコラボレーション・プロジェクトです。

Merry な子どもの森づくりプロジェクト



16.To wish to Merry Tree 森に願いを

笑顔いっぱい Merry な木→Merry な森プロジェクトが現在進行中。子どもたちに環境について考えさせる。

笑顔を撮影して「地球のこと」「平和のこと」「子どもたちのこと」etc、展示会に訪れた人々が思い描く千差万別の Merry なメッセージを Merry Card に書いてもらい、会場に設置された Merry な木の枝にどんどん結んでいく。

Merry な願い事をする

紙に Merry なことを書く

Merry の木の枝にそれを結ぶ

友達にも同じことをするように勧める

枝が願いで見えなくなるまで

Merry な願い事を続けましょう



1人1人の Merry なメッセージや願いごと、将来の夢などを再生紙で作った Merry の Eco card に書いていきます。



Merry メッセージと笑顔の写真が一緒になった Merry Eco card も一緒に結んで、Merry な木にしていきましょう。

To wish to Merry Tree 森に願いを -1



To wish to Merry Tree 森に願いを -2



17.MERRY WEB SITE



www.merryproject.com

Merry ProjectのWEB Siteがよりコミュニケーションを目的としたWEB Siteにリニューアルしました。

世界23カ国20,000人以上の笑顔が見れるアーカイブス、Google mapsを利用して、世界中のMERRYが投稿出来るMERRY Uなど、コミュニケーションをテーマとした新しい形のWEB。言葉の壁を越え、絵で世界中の人とコミュニケーション出来るVOICE POOLなど様々なコミュニケーションツールでリアルタイムに世界中の人とコミュニケーション出来ます。

MERRY WEB CONTENTS

MERRY WEB SITEのコンテンツ紹介

新しいコンテンツをはじめ、MERRY WEB Siteではコミュニケーションを目的としたコンテンツの充実を目指しています。言語の壁を越えて、絵でコミュニケーションする「VOICE POOL」。世界中の人々がくれた、笑顔のコミュニケーション、MERRYなメッセージを見ることが出来る「MERRY ARCHIVES」。世界中のMERRYが投稿出来る「MERRY U」。MERRYの輪を通じて集まったMERRY MEMBERたちとのコミュニケーションetc…様々なコミュニケーションツールが集まった、新しいMERRYのWEB Siteをご紹介します。



MERRY ARCHIVES



あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは、何ですか？」このシンプルな質問を世界中の人々に投げかけ、その笑顔とメッセージを集め、完成したのが、この「MERRY ARCHIVES(メリーアーカイブス)」です。1999年から開始されたMERRYの撮影。これまで世界23ヶ国2,0000人以上の方に参加して頂きました。このアーカイブスの完成によって、世界中の人々の笑顔とメッセージを見ることが自由に出来るようになりました。世界には国の数だけ人がいて、人の数だけ笑顔があります。それぞれが考える「MERRY」に、あなたもきっと共感することでしょう。世界中の人々の笑顔あふれるこのアーカイブスは、これからも進化を続け、もっともっとMERRYなものになることでしょう。

 MERRY U POST YOUR MERRY MESSAGE & SMILE!
世界地図に、あなたのメリーを投稿しよう!

↑
← * →
↓
+
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

地圖 航空写真 地圖+写真

MERRY IN SHANGHAI
2005.01.18
READ MORE 続きを読む

merryproject

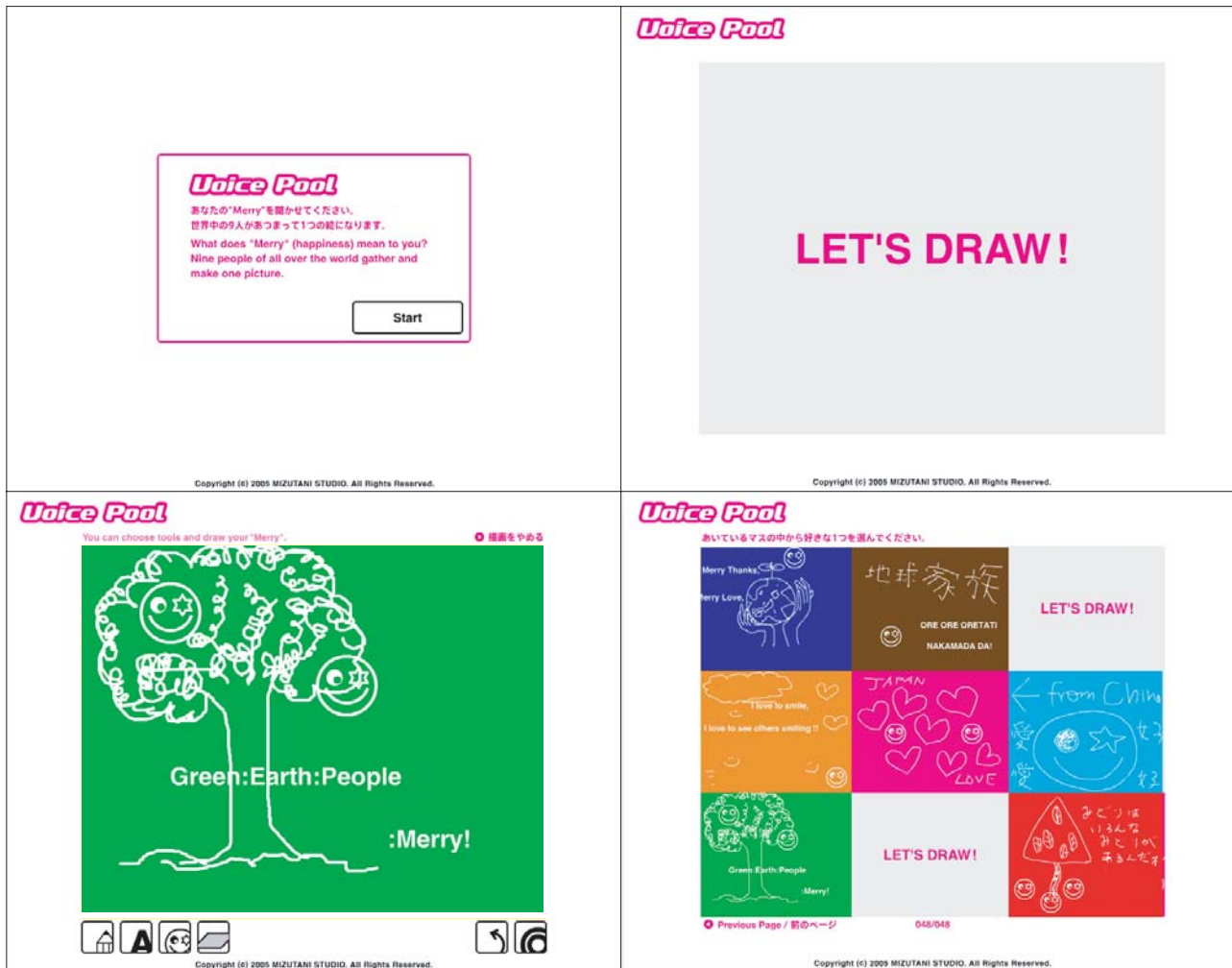
Powered by Google

地図データ ©2008 Europa Technologies - 利用規約

[illegible]

4)初めてあの子と遊んだ記念に「楽しかったよ!」のメッセージをあ の場所に残してMERRY Uのアドレスを送信だ!

VOICE POOL



9つのスペースの中からひとつを選び、様々なツールであなたの Merry を描いてください。

言葉の壁を越えて、世界中から集まった9人によってスペースがすべてうまると、

登録したメールアドレスに"お知らせメール"が届きます。

さて、あなたの Merry は何ですか？



MERRYこどもプロジェクト



「MERRYこどもの森づくり」を核に、今年新たに、エコ、サイエンス、スポーツ、アートのカテゴリーを加え、「MERRYこどもプロジェクト」を展開します。「MERRYこどもプロジェクト」では、今後、「環境」「教育」「子育て」などをテーマとする一般催事へも積極的に参加。その際には、幼稚園・保育園の枠組をはずし、幼児～中学生までの子どもたちおよびその家族へと対象を拡大し、企業、行政、NPO/NGO、各種団体等と手を携え、社会全体で子どもたちの環境改善を図るよう努力します。



MERRYこどもプロジェクト



MERRYこどもプロジェクト



MERRYこども CLEAN UP PROJECT



MERRY IN NAGOYA 2007



名古屋の百貨店「ジェイアール名古屋タカシマヤ」で、幸々に満ちた世界の街の風景や人々の笑顔がいっぱいの企画展「世界が愛につつまれる in ローズパティオ～世界のスマイル～」を開催しました。どのフロアも世界中のとびっきりの笑顔とMERRYなメッセージがいっぱい。また、「ベストスマイル MERRYチャリティ写真撮影会」として、みんなの笑顔を撮影し、写真はその場でオリジナルカードにしてプレゼントしました。写真やメッセージカードを飾って大きくてMERRYなクリスマスツリーも完成しました。(2007.11.23～12.25)

世界が愛に包まれる in ローズパティオ～世界のスマイル～





MERRY IN NAKAKU



中区制 100 周年を、みなさんの笑顔でいっぱいに。平成 20 年 4 月、中区は区制施行 100 周年を迎えます。この間に日本は、明治・大正・昭和、そして平成へと年号を変え、街の風景や日常の暮らしも大きく様変わりしました。そんな中、何年経っても変わらないものがあるとすれば、それは区民の皆さまの楽しそうな「笑顔」といえるのではないのでしょうか。笑顔は、皆さまが幸せに暮らしていることの証し。とびっきりの笑顔と MERRY なメッセージをたくさん集め、街の中を笑顔でいっぱいにします！（2007 9/15-）





18.Merry の夢のかたち

Merry の夢、それは世界（地球）をしあわせにすること。

世界中の人たちがしあわせになるために Merry Project は、こう考えます。

1) 地球上・65 億人の「笑顔とメッセージ」を集めよう。

世界中の人の笑顔をひとつ残らず集めた WEB を作ること。インターネットを利用し、
クリックひとつで何処の国の人の笑顔でもすぐに見られるような、笑顔のデータベース作り。

2) Merry Project が提案する新しい公共空間デザインシステム。

Merry な街づくり、国づくり、地球づくりをするために、
公共空間を楽しく快適に使えるようなパブリックデザインを提案します。
国境を越えた Merry な空間づくり。自然とそこには笑顔が生まれることでしょう。

3) 日本のステーションと世界を結び（東と西の世界）、コミュニケーション ART の集大成ともいえる
ツーウェイのインタラクティブアートを行いたい。

そしてリアルタイムで映像をコラージュしていく（日本とヨーロッパなど）
Merry London Life の世界各国版→国境を越えた壮大な ART プロジェクト

4) 新しい21世紀の社会貢献広告、社会貢献ビジネスとして確立したい。

人と人とは互いに繋がっていて世界はひとつ
＜世界はひとつというメッセージを伝えたい＞

平和・環境



「地球を Merry（幸福）にする」

いつか 65 億人の笑顔を撮影、取材をして、地球を Merry（幸せ）でいっぱいになりたい。
そんな地球を「平和な環境」にすることが私の最後の仕事であり、Merry な夢である。
地球の人々を思い、幸せにすることが私のエコ・コミュニケーション・アートである。

19.Merry Project の思い・主張

「人々の笑顔で街を元気にしよう！」というコンセプトのもとに、震災後の神戸、同時多発テロ 1 年後のニューヨーク等で、笑顔のコミュニケーションアートを展開して来た。これからは、もっと具体的かつ主体的な形で社会に貢献していくべきと考えている。地球いっぱい、笑顔で Merry(幸せ) にしたい。いつか 65 億人の笑顔を撮影し、地球を Merry でいっぱいになりたい。人を幸せにする笑顔の力をわたしは信じています。

20.Merry EXPO の概要

笑顔は世界共通のコミュニケーション。Merry EXPO は人類共通の価値観を再発見しようとするコミュニケーションアート。「あなたにとって Merry(しあわせ) とは何ですか？」という質問を投げかけ、集められた世界 23 ヶ国 2 万人以上の笑顔とメッセージが「愛・地球博」の巨大ビジョンで上映された。MERRY EXPO BOOK の表紙は万博のため世界中から集まったダンボールをリユース。この本の売り上げは南アフリカに学校を贈るために役立てられる。さらに地球環境を足下から見直し、拾っている姿をアピールすることでゴミを捨てさせない Merry な街づくりを目指した Clean up を世界各国で行った。

21.Merry EXPO が理解できる URL

<http://www.merryproject.com>

22.Merry Project プロフィール

1951 年名古屋市生まれ 1983 年水谷事務所設立 ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展金賞、N.Y.ADC 国際展金賞・東京 ADC 賞など国内外において数々の賞を受賞「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合言葉に 1999 年より笑顔を撮影したポスター展示やゴミ拾いなど世界に Merry(しあわせ) の輪を広げる "Merry Project" を開始。2005 年愛・地球博にて "Merry EXPO" 開催

23.Merry EXPO を必要とした背景動機

愛・地球広場のシンボル企画「Merry EXPO」万博で発表するために半年間、世界を回って「Merry(幸せ) な笑顔」を撮影してきました。世界中の人々のコミュニケーションの輪を広げたい、という思い。

24.Merry EXPO に提示された要求・要望

博覧会の事業コンセプトである「地球大交流」をテーマに、愛・地球広場のエキスポビジョンの大画面に各国の人達の笑顔の写真を 1 日に 7 回、計 1 時間半に渡って映し出すこと。

25. 施主・クライアントのメリット

財団法人 2005 年日本国際博覧会協会が施主となり「地球大交流」をコンセプトに EXPO 会場の中心に位置する、愛・地球広場のシンボルコンテンツとして最先端の技術を使って、最も根源的な想いを分かち合った。

26.Merry EXPO の文化的デザインと件

全5大陸、今まで笑顔を見たことがないような国を探し、世界23ヶ国をまわった。

特に貧しい国ほど笑顔がいい。笑顔はマイナスの部分があればあるほど美しい、

厳しい所で生きている子は「いま」の幸せをかみしめ、輝いているからだ。

(ヴェネチア、ベルリン、アムステルダム、ヘルシンキ、モスクワ、パリ、バルセロナ、エジプト、メキシコ、ハバナ、ケープタウン、ナイロビ、プエノスアイレス、サンパウロ、リオデジャネイロ、ホーチミン、上海、シドニー、ブルーム、パース、ヌクアロファ、デリー、ジャイプール、バンコク…)

27.Merry EXPO の視点

1) 少しでも多くの人とコミュニケーションを重ねられるように。

65億人のコミュニケーションによって地球をMerryにすることがデザインであり、コミュニケーションアートである。

2) 地球上にある、より多くの人々の笑顔とメッセージを国境を超え、集めたいということ。

笑顔に国境はない。No Border.

3) 環境の問題。貧しい国に住んでいる、マイナスの環境にいる子たちがデザインの力、

Merryの力によって、少しでもプラスに、幸せに出来るかどうか。

28.Merry EXPO のエコロジーデザイン

Merry EXPOの集大成である「Merry EXPO BOOK」の表紙は万博会場に世界中から集まったダンボールをリユース。

丁寧に手作業でカットしたダンボールを使い、1冊ずつ手製本で作られました。

人に個性があるように1冊ずつが1点もの、世界に1つだけの本。

そのまま捨てられていくダンボールにもう一度命を与えるように

「愛・地球広場から発信されたMerryな笑顔とメッセージ」を包み込んで、

再び世界中に戻って行くという地球環境を考えたデザインです。

29.Merry EXPO のユーザーの把握

"My Paper from merry"には34万人が参加。

当初写真は1人を想定していたが、開幕すると家族、カップルなど複数で応募してくる人達が多く見られた。

1日600部を想定したにも関わらず、会期終盤には1日当たり1000部以上の日が続出。

自分の笑顔が入ったマイペーパーを受け取った来場者の喜びにより、

マイペーパーを通じてコミュニケーションを重ねることが出来たことが検証され大成功をおさめた。

30.Merry EXPO のユーザーのメリット

人が持っている「自然な笑顔」を引き出すことができた。

笑顔というものには、人が持っているマイナスな部分、ネガティブな気持ちをポジティブにする力がある。

嬉しいときに笑顔がこぼれるのか、笑顔がこぼれるから嬉しくなるのか、つらいことが続いていると、

笑顔が浮かべばまた元気がわいてくる。難しい問題にぶつかって困っていても、笑顔がこぼれたら、

もうすぐ解決するような気がする。みんなが笑顔になれば、きっと地球も笑顔を見せてくれるに違いないと思う。

31.Merry EXPO の地域・社会への貢献

"Merry Clean Up Project" は地球環境を足元から見直し、ゴミを拾っている姿をアピールすることで

ゴミを捨てさせない Merry な街づくりを目指したクリーンアップを世界各国で行った。

キューバでは多くの子供達が「一緒にゴミ拾いさせて!」と集まってきたり、オーストラリアではアボリジニの子供達が、ゴミ袋を取りあいながら一緒にゴミを拾ってくれたり子供達は本能的に " 環境 " を感じていた。

会期中には愛・地球博のパートナーシップ事業 "Merry Expo Clean Up Project" を全 4 回実施。

参加した多くの子供達が競うようにゴミを拾っているとつられたように他の参加者もゴミを拾っていた。

32.Merry EXPO のデザインへの貢献

これからのデザインはコミュニケーションデザインなのだと思う。

Merry によってマイナスの町の輝きを取り戻すこと、環境を Merry にすること。

社会を Merry にすること。今のデザインにとって必要なものは、人と人をつなぎ、

社会と人を幸せに、楽しくさせること、それが 21 世紀のデザインなのである。

33.Merry EXPO のコミュニケーション・ポイント

- 1) 世界 23 カ国 2 万人以上の笑顔とメッセージを集め、インターネットで世界中に配信しました。
- 2) 万博会場に世界各地から集まったダンボールをリユースし、世界に 1 つだけの本をデザインしたこと。
- 3) 本の売り上げは南アフリカ共和国の子どもたちへ学校を贈るために役立てられる。

34.Merry EXPO のコミュニケーション・コメント

99 年からの継続した仕事であり、様々な問題に直面している現代の社会において、

世界の国々の人に、笑顔や幸せを問い続けていく強い思いや、注ぎ込んだ膨大なエネルギーを注ぎ込んだ。

また、ダンボールをリユースした本など、エコロジカルな視点を重要に考えている。

35.Merry EXPO の提案・貢献ポイント

- 1) 人と人との新しいコミュニケーションを提案
- 2) 「エコロジーデザイン」を実践
- 3) 持続可能な社会の実現に貢献

36.Merry EXPO のコミュニケーション・課題

今後、実現させたい Merry の課題として、地球上、65 億人の人々の笑顔とメッセージを全て撮影したいということ。

世界中の人の笑顔をひとつ残らず集めた WEB を作り、インターネットで世界中の何処の国の人の笑顔でも

クリックすれば すぐに見られるようにすること。1 人でも多くの人々の笑顔とメッセージを集め、

いつの日か地球いっぱい、笑顔で埋めたいと思っています。

History of Merry Project

1999.11.27 - 12.24	Mori Hanae Open Galleryにて展覧会「Merry」開催
12.15 - 31	原宿アストロビジョン・有楽町マリオンビジョン・池袋アイムビジョンにて60秒映像「Merry」上映
2000.1.04 - 16	ラフォーレミュージアム原宿+ラフォーレ原宿館内にて展覧会「Merry at Laforet 2000」開催
4.04 - 4.07	新宿EPSON SQUAREにて展覧会 「Merry at EPSON 2000」開催
5.18 - 19	ニューヨークMETROPORITAN PAVIRIONにて「Tokyo Street 2000」に参加
2001.4.29 - 5.13	ラフォーレミュージアム原宿にて「Merry-London Life」開催
5.01 - 5.31	ロンドン+マンチェスターセルフリッジ百貨店にて「Merry-Tokyo Life」開催
7.16 - 8.31	凸版印刷ギャラリーPLAZA21にて「アジア発・ポップカルチャー展」に参加
9.13 - 25	神戸21世紀・復興記念事業として神戸市オーガスタプラザにて「Merry in KOBE 2001」開催
2002.2.21 -	Virgin Megastore池袋店にて「Merry at Virgin 2002」常設展示
4 - 6.30	サッカー・FIFAワールドカップ開催期間中、神戸フェニックスプラザサポーターズビレッジ2Fにて「Merry in KOBE 2002」開催
3.25 - 2003.12	神戸21世紀・復興記念事業として神戸市新長田南再開発工事仮囲い「Merry in KOBE 2002」展示
3.29 - 4.07	サッカー・FIFAワールドカップ神戸市会場DUO Kobeにて「Merry in KOBE 2002」開催
2003.2.14 - 23	六本木ヒルズインフォメーションセンター／THINK ZONEにて「Merry in New York」開催
7.05- 8.31	六本木ヒルズMetro Hat(7/25-8/3)、丸の内DCROSS、カレッタ汐留、電通ビル、日比谷公園他数十カ所にて「Merry in Tokyo」開催
12.02	渋谷「Merry Clean up Project」開催
2004.4.01-5.30	北海道札幌市4番街にて「Merry in Sapporo」、5万人のClean up Project(5/30)開催
2005.3. 25 -10.25	愛知万博、「愛・地球広場」にて「Merry EXPO」開催
5.30	名古屋 栄にてゴミゼロの日「Merry EXPO Clean up project」開催
7.22	新橋、汐留にて「Merry EXPO Clean up project in Shinbashi Shiodome」開催
9.17	六本木にて「Merry EXPO +Ropponngi Clean up 」開催
9.19	名古屋にて「Merry EXPO Clean up project in NAGOYA」開催
12.15	「Merry EXPO -Book of global exchange -」発売
2006.2.2-2.14	Merry EXPO in TOKYO(ミキモト東京店)
2.23-3.14	Merry EXPO in NAGOYA(ミキモト名古屋店)
5.20	第14回 桑沢デザイン・オブ・ザ・イヤー賞
10.2	第50回グッドデザイン賞
10.15-11.28	「MERRYなこどもの森づくり」活動 全5回(愛知・神奈川・千葉・福井・福岡)を開催
12.14-16	エコプロダクツ展、エコアート展出品 「MERRYこどもの森づくり」キット発売

○ 日英同盟100周年にあたる2001年ジャパンイヤーのイベント「Tokyo Life」の中心的イベントとして招待。Laforet原宿と、日英同時開催。

2007.03.24-03.25	EXPO閉幕2周年を記念して「MERRYこどもプロジェクト」を発足
04.20-04-21	アースディ愛知2007にて「MERRYこどもプロジェクト」ワークショップ&クリーンアップを開催
10.03-12.18	「MERRYなこどもの森づくり」全11回（北海道・神奈川・栃木・千葉・愛知・福岡・兵庫・東京）を開催
11.15	これまで世界中を取材した集大成である「MERRY MESSAGE CD,DVD」を発売。
2008.03.31	「MERRYこどもの森づくり」キット 2007年度版を発行 全国の保育園、幼稚園に配布





14



15



16



17



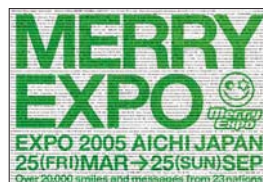
18



19



20



21



22

1 "Merry at Laforet 2000" 2000 Laforet Museum Harajuku, TOKYO 2 EPSON MAXART PM-9000C "Merry at Laforet 2000" 2000 Laforet Museum Harajuku, TOKYO 3 "Merry London-Life" 2001 Laforet Museum Harajuku, TOKYO 4 "Merry Tokyo-Life" 2001 Selfriges Department Store, LONDON 5 "Merry at Rizzoli" 2001 Rizzoli, NEWYORK 6 "Merry in KOBE 2002" 2002 DUO Kobe, KOBE 7 "Merry in KOBE 2002" 2002 Shin-Nagata Minami redevelopment temporary enclosure for construction, KOBE 8 "Merry in KOBE 2002" 2002 Supporter's Village 2F Phonenix Plaza, KOBE 9 "Merry in New York" 2003 Roppongi Hills Information Center / THINK ZONE, TOKYO 10 "Merry in Tokyo" 2003 Roppongi Hills Metro Hat, TOKYO 11 "Merry in Tokyo" 2003 Shiodome, TOKYO 12 "Merry Cleanup Project at Shibuya" 2004 Shibuya, TOKYO 13 Merry (INFAS) 1999 14 Merry (BAUHAUS) 2000 15 Merry at Roppongi 2001 16 Merry - London Life 2001 17 Merry in KOBE 2002 18 Merry in NewYork (free paper) 2003 19 Merry in Tokyo (free paper) 2003 20 Merry in Sapporo (free paper) 2004 21 Merry Expo (free paper) 2005 22 Merry Expo book of global exchange 2005

世界の笑顔を集めるアートディレクター

みず たに こう じ
水 谷 孝 次 さん(53)

ひと



世界の街角や公園で笑顔の写真を撮り続けている。昨年7月にスタートして18カ国計約8千人。あと数カ国を回り、作品は3月25日に開幕する愛知万博の「愛・地球広場」

で大画面に映し出される。広場のシンボル企画「メリーエクスポ」。メリーは「幸せな」「楽しい」という意味だ。もともになったのは、震災から復興を進める神戸や9・11後のニューヨークの笑顔。一人ひとり大きなポスターにして工事現場のフェンスなどに並べ、評判を呼んだ。

大学卒業後、デザイン学校に通い広告業界に入り、企業のポスターで活躍。福岡ダイエーホークスのタカのロゴも担当した。ワルシャワ国際ポスタービエンナーレでは金賞を受賞。この後、米国旅行中にバスの少女たちの自然な笑いに思わずカメラを向けた。「みんなをだます商業ポスター

1はもういい」と思った。

昨年9月1日は、入学式に

集まる笑顔を探ろうとモスク

ワにいた。北オセチア共和国

では、この日を狙って武装集

団が小学校を占拠。モスクワ

でも、地下鉄でテロ事件が起

きていた。心配するスタッフ

を「こういうときこそ笑顔

を」と説得し、クレムリン近

くの小学校へ。着飾った新入

生や家族の笑顔を取めた。

コンパクトカメラ2台を持

ち、2枚目で「自然な表情が

出てくる瞬間」をねらう。

「世界のどこよりも、東京

で撮る笑顔が難しかった」

文 六郷 孝也
写真 新井 義顕



©朝日新聞社 2005年

〒104-8011 東京都

発行所 中央区築地5丁目3番2号

朝日新聞東京本社

電話 03-3545-0131



©朝日新聞社 2005年
発行所 名古屋市中区栄1丁目
3番3号 〒460-8488
朝日新聞名古屋本社
電話 052-231-8131

津波で消えた 笑顔戻したい

愛知万博(愛・地球博)の「愛・地球広場」に世界の笑顔を集めるシンボル企画「メリー・イン・エキスポ」の撮影が大詰めだ。昨夏から20カ国で1万人の笑顔を集めてきた水谷孝次さん(55)が12日、最後の撮影地インドとタイに向けて旅立った。「タイはほほえみの国。津波による大きな被害で消えた笑顔を取り戻してもらいたい」と最後の訪問地を選んだ。

(六郷孝也)

水谷さんは広告のアーティレクターだが、阪神大震災から復興を進める神戸や、「9・11」のテロから1年たったニューヨークの街頭で撮影。メッセー지를添えた笑顔のポスターなどに仕上げ、その都市で展示する



「メリープロジェクト」を展開してきた。万博では、広場の野外ステージにある幅20メートル、高さ8メートルの巨大なエキスポビジョンにこれまで撮った笑顔の4人ずつ映る録音したメッセー지의音声を点検。大画面の笑顔を見ながらスタッフ

水谷孝次さん 最後の撮影にタイへ



らに「貧しい国ほど笑顔が美しい。でもキューバの笑いも画一化していた」

け、北部の山間地などで

大画面に映し出された世界の笑顔の前に話す水谷孝次さん。愛知県長久手町で撮るつもりだ。「悲しみが強すぎてつらい人から無理に笑いを撮ってはいけない」。立ち直りつつある人たちの元気を呼び戻す写真を目指すという。

愛・地球広場では観客がカメラ付き携帯電話で送った写真やメッセーじも映し出され、登場した自分や家族の写真を掲載した朝日新聞発行の「マイペーパー」をもらえる企画もある。水谷さんは「愛・地球広場を世界に笑顔を取り戻す出発点にしたい」と話している。

朝日新聞
タ刊
©朝日新聞社 2005年
名古屋市中区栄1丁目
発行所 3階3号 〒460-8488
朝日新聞名古屋本社
電話 052-231-8131



本に「再生」、世界の笑顔

段ボールで装丁

愛・地球広場で放映

愛知万博の愛・地球広場にあったエキスポビジョンに笑顔の写真を映し出した「メリーエキスポ」のアートディレクター水谷孝次さん(54)が、万博に登場した笑顔の写真を出版する準備を進めている。環境万博が提唱した資源のリユース(再使用)の精神を生かすため、装丁は各国パビリオンから集めた段ボール箱を裁断して使う。

(六郷孝也)

段ボールで装丁した「メリーエキスポ」写真集のサンプルを手にする水谷孝次さん。段ボールは万博会場で外国館などから集めた11月23日、愛知万博会場で

写真集は、普通の写真集と同じように大手の印刷会社から発行される。だが装丁は、書名の「MERRY EXPO」と印刷したテープを背表紙に使う以外は、表紙も裏表紙も段ボールを使う。万博終結と閉幕後、片付けをしていた海外パビリオンやごみ集積場を水谷さんがめぐって、段ボールのデザインや汚れを点検しながら集めた。「わらは、その国なら

ではの特徴がある段ボールです」。事務所スタッフと一緒にカタナイフで本の大きさに裁断し、準備をしている。水谷さんは万博の前に、阪神大震災からの復興を目指す神戸や9・11のテロ後のニューヨークで人々の笑顔を撮影して展示するメリープロジェクトを企画した。万博開催中も自分で費用を負担し、縦1尺、横70センチの面に800人の

笑顔を取り集めた1枚セットのメリープロジェクトを印刷。5万セットを、会場内や東京都内で無料で配った。今回の本も赤字覚悟で1冊千円程度で売り出す。「仕事がアートディレクターですから先投資みたいなのでも、万博で笑顔があふれた記録をここに残したい」と水谷さん。売り上げは撮影で訪れた際に貧しさが際だ

った南アフリカの学校建設に役立てるつもりだ。11月下旬には出版したという。本の形態が通常の流通ルートに乗りにくいので、東京の美術書やデザイン書をそろえた書店や、名古屋市内の主な書店に置いてもらうほか、メリープロジェクトのホームページ(www.21merry.net)で11月から予約を受け付けている。

読売新聞

2006年(平成18年) 2月9日 木曜日

発行所
読売新聞東京本社
第46663号

〒100-8055
東京都千代田区大手町1-7-1
電話 (03) 3242-1111 (代)
<http://www.yomiuri.co.jp/>

世界の子ども2万人の笑顔

壁一面に映し出された子どもたちの笑顔。会場には写真集も置かれている



映像とメッセージ、写真集も販売

港区のアートデザイナー た。23か国の子どもたちの笑顔撮影し、万博会場では縦8尺、横約20尺の大型ビジョンで流し続けた。万

博終了後も、イベント作りにかかわったチームは解散せず、学生らと一緒にゴミ拾いを行うなどの活動を続けていく。

国や人種を超えた子どもたちの笑顔が次々に映し出される。昨年、愛知県で開かれた愛・地球博(愛知万博)で来場者を楽しませたイベントが、中央区銀座4のミキモトホールでよみがえった。企画展「Merry EXPO in TOKYO」。会場では子どもたちが語るメッセージも流れ、癒やしの空間が再現されている。

14日まで

水谷さんは「慌ただしい銀座の雑踏を抜け、無邪気な笑顔にほっとする。そんな空間を作ろうと思いついた」と話している。

14日までの午前11時〜午後7時。入場無料。問い合わせは同ホール(☎03・3535・4611)へ。

会場では、このうち300人余りの笑顔を集めた写真集を1500円で販売。表紙は、万博のパビリオンから出た廃棄用段ボールを再利用したもので、売り上げの一部は南アフリカで学校を作る資金に役立てるといふ。

銀座の企画展では、11台の映写機が設置され、ホールの壁全体に子どもたちの笑顔が21人ずつ、数秒ごとに映し出す。「パパ、大好き」「PLAYING WITH MY DOG(犬と遊ぶこと)」「なな、子どもがそれぞれの国の言葉で語ったメッセージも映像と音声で流れる。

2007年(平成19年)

12月12日

水曜日

朝日新聞

世界の笑顔、DVDに

「幸せとは？」23カ国2万人に聞いた



「メリープロジェクト」と題して、99年から世界各国で笑顔の撮影を続けている名古屋出身のアートディレクター水谷孝次さん(56)が、活動をまとめたDVDとCDを発売した。

名古屋の水谷さん

23カ国で約2万人を撮影した際に収録した映像や、「あなたにとって幸せ(メリー)とは」という問いかけに寄せられたメッセージの一部が集められている。

CDには肉声 万博で上映、収録

水谷さんは、愛知万博の会場に世界の人々の笑顔を映し出す企画「メリーエクスポ」を手がけた。DVDには、その企画などでアフリカやヨーロッパなどを回った際に撮影した現地の人の笑顔の映像やメッセージを収録。日本語の字幕付きで紹介している。

「同時多発テロを契機に平和や環境保護を訴える言葉が増えてきた。大切な人と過ごすクリスマスに、自分にとっての幸せを考えるきっかけにしてほしい」と話す。

CDは音声のみだが、収録地の言葉や街角の騒音がそのまま収められ、臨場感がある。視覚障害者にも手に取ってもらえるようにと、表紙に点字をあしらひ、全国の約70の盲学校に無料配布したという。

CDは、東京やロンドンなどで録音した約千人分のメッセージを集めた。「有名になりたい」といった願いから、米国同時多発テロの1年後にニューヨークで録音された平和を願う言葉も収められている。水谷さんは

笑顔を集めたDVDとCDを持つ
水谷孝次さん(名古屋市中)

DVDは101分構成で1995円、CDは64分構成で1575円(ともに税込み)。ホームページ(<http://www.merryproject.com/>)でも購入できる。



カラー・ジュ・下村佳純

地球いっぱい、笑顔で埋めたい

2005年日本国際博覧会(愛知万博、愛称「愛・地球博」)は25日に開幕する。公式参加の120カ国の人々をはじめ、世界中の人々が、名古屋東部丘陵の長久手、瀬戸の両会場を中心に集う。半年間にわたる笑顔の交流が始まる。

「地球交流」をテーマにする愛・地球博には、エクスポジションの大画面に各国の人たちの笑顔の写真が1日に7回、計1時間半にわたって次々と映し出される。広告ポスターのアーティストレクターとして活躍する水谷孝次さんが、万博で発表するために半年間、世界を回って撮影してきた「メリー(幸せ)な笑顔」だ。阪神大震災から立ち直ろうとする神戸でも、「9・11」の後のニューヨークでも撮った。

ベネチア、ヘルシンキ、モスクワ、パリ、カイロ、ハバナ、ケープタウン、ナイロビ、プエノスアイレス、ボチミン、上海、シドニー、バンコク……。

「世界の笑顔をつめてみて、貧しい国の人々の笑顔がきれいだと気づきました。日本人の笑顔が心配になっちゃいます」

うれしいときに笑顔がこぼれるのかな。笑顔がこぼれるからうれしくなるのかな。

つらいことが続いていると、笑顔が浮かばばまた元気がわいてくる。難しい問題にぶつかって困っている、笑顔がこぼれたら、もうすぐ解決しそうな気がする。

「ほくがカメラを向けるとみんな笑っちゃうんです。不思議ですね」と水谷さん。笑顔の配達人は「万博会場でも撮影しますから、みんなどんどん来てくださ」と張り切っている。

みんなが笑顔になると、地球も笑顔をみせてくれるかな。